



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O KITAMURA BUSINESS CONSULTANTS OFFICE
 503 Shinsaibashi Urbanlite
 1-5-12 Nishi-Shinsaibashi Chuo-ku
 OSAKA 542 JAPAN

OCTOBER 1996. No. 4
 The Service Club to the YMCA
 Chartered September 25, 1982

MOTTO (1996~1997)

- I P "Learn Implement Impart" 「学びと奉仕と分かち合い」
- A P "Restoring the Creation Order of God" 「天地の調和を取り戻そう」
- R D "New Regions and Forward" 「新リジョン! さあ前進!」
- D G "Y's First"
- C P 「進んで参画しよう。」



= 月間強調テーマ: 「EMC/E」 =

= 10月の聖句 =

わたしたち強い者は、強くない者の弱さを担うべきであり、自分の満足を求めるべきではありません。おのおの善を行って隣人を喜ばせ、互いの向上に努めるべきです。

(ローマの信徒への手紙 第15章 1~2節)

= 10月お誕生の方 =

Happy Birthday to following people

山村メネット 9日 秋月メネット 28日

= 10月第2例会 =

日時: 1996年10月23日(水) 6:30~8:30 p.m.
 場所: 大阪グランドホテル

—— 10月第1例会 ——

日時: 1996年10月16日(水) 6:30 ~ 8:30 p.m.
 場所: 大阪グランドホテル

司会: 長瀬 由香子 君

1. 開 会 点 鐘 栗山 佳三 会長
2. ワイズソング 一 同
3. 聖 句 朗 読 堀 利満 君
4. ゲ ス ト 紹 介 栗山 佳三 会長
5. 日 々 の 糧 及 び 黙 禱 一 同
6. 晩 餐 一 同
7. 卓 話:

「新クラブ

— “生み”の苦しみと喜び —

EMC委員長, なかのしまクラブ会長

杉浦 眞喜子 君

8. お 誕 生 日 祝 い 一 同
9. ニ コ ニ コ 献 金 ド ラ イ バ ー
10. 役 員 会 ・ 委 員 会 報 告 ・ Y M C A ニ ュ ー ス
11. 閉 会 点 鐘 栗山 佳三 会長

◎EMC/E 強調月間! 友人・知人を同伴しましょう

9月在籍者	9月 出席者		9月出席率	BFポイント
27名			63.0%	9月分切手 673 gr.
広義会員	27名	17名	(メキッパツ)	現金 7,200 円
0名	メネット	7名	前月出席率	本年累計
合計	コメット	1名	修正 - %	切手 2,517 gr.
27名	ビジター	0名		現金 18,700 円
	ゲスト	1名		(7月分 500円報告を計)
	合 計	24名		(8月“9月分BF報告”を計)

役 員

会 長: 栗山 佳三
 副会長: 秋月 利英
 “ : 山田 孝彦
 書 記: 三浦 直之
 “ : 藤原 正巳
 会 計: 津田 葉清政

◎9月ニコニコ献金
 20,650円

◎10月第1例会当番: (第2班) 鈴木君, 柴田君, 藤原君, 杉浦君, 長瀬君, 堀 君

《今月の聖句によせて》

福祉の歴史は、あわれみとしての福祉、権利としての福祉、ためにではなく共にする福祉と大きく変化している。とくに日本でも高齢化社会を迎えて、福祉に対する世間の関心の深まりに正比例して福祉の質が高くなり、ノーマライゼーション（障害者・高齢者が特別視されることなく、普通の生活が保障される）が現代の社会福祉をリードする理念となっていることは、ご承知の通りである。このような状況の中で、大阪YMCAはこの程、特別養護老人ホームの建設（大阪東Y）を通じて福祉の仕事をはじめることになったが、本月の聖句にあるように、人間の強さは自分を喜ばせることではなく、弱さをもつ者と強い者とが共に生きるという心のノーマライゼーションがその基礎となり、YMCAのもつ特色が大いに発揮されることが期待される。

（聖句撰・解説：田中 穰二）



《日本のメネット会の現状》を話される森本日本区メネット事業主任

＝ 9 月 第 1 例 会 報 告 ＝

（9月18日（木）6:30 p.m.）

福永 滋子

いつもメネットナイトには、メネットさんたちの心づくしのボトラックを賑やかに頬張りながら交わりのときを楽しんだものです。ところが、今年はホテルの食事なので、少しでも潤いを持たそうと、坂本メネットが手作りのケーキを配られると、栗山会長は前回より格段の進歩があると誉められたものです。

まず、中村メネット会長の点鐘に始まり、田中メネットの代わりに私が聖句を読み、日本区メネット事業主任森本好子様の紹介の後、栗山会長が議長となり、総会が開かれました。そこでは、ブリテン掲載の「95-96年度決算案及び96-97年度予算案」に基づき、津田葉メネットの説明を受け、山村会計監査の報告があり、質問・意見はなく、原案通り承認されました。

続いて、鈴木メネットの提案があり、中村、坂本両メネットの作られたケーキを買って頂いて、新クラブのための資金繰りにご協力頂きたいと言われた処、当日持参されたケーキは早速売り切れてしまいました。

晚餐の後、森本メネット事業主任より「日本のメネット会の現状」と題してお話を伺い、その中でいろいろ指摘されました。中部・北海道部のメネット会に出席して学んだが、いま日本で136クラブ中の70クラブが活動しており、主人のY's入会で自動的にメネットになる（自分の意思ではない）のが多いが、積極的な人もいれば、そうでない人、メネット会長はいても、メネット会はストップしているクラブもある。組織の中で連絡があってこそ活動が出来ると思う。「メネットも共に支える奉仕の輪」の標語をかかげて、家族ぐる

みで参加できるよう希望している。メンの方々にメネットに対する理解をお願いしてメンを光らせ、メネットを輝かせて下さいと結ばれました。また、なかのしまクラブの設立は全国から注目されていると話しておられました。お礼に花束と箱に花を飾った中村会長手作りのケーキを差し上げました。

続いて、中村会長より「本年のセンテニアル・メネット会について」と題して、ご挨拶があり、気負わず、なごやかな雰囲気をごわさず、メンと一緒にご奉仕をし、助けて行きたいと申されました。さらに、ブリテンのメネットコーナー担当の一年間の表を作り、投稿の要請がありました。

次に、第62回国際大会に参加されたご報告がありました。まず鈴木メンのお話では、今回は日本から140名の参加があり、中西部のY'sが一番多かった。31年前にも同地で大会があり、私どもも参加したことがなつかしい。元国際会長の夫婦18組の懇親会があり、ノタルジーの会といわれ不満だったが、昔話はずみ、なつかしかった。今回の大会が手作りのということに自慢にしていた。今回の特徴は、若者（ユース）を如何にY'sメンが取扱っていくか、如何に育てていくかを強調していた。日本からも14名（15才～24才）のユースが参加した。センテニアルでは中村さんの娘さんを是非ユースとして育てたいということでした。

また、お話はさらに進み、カナダ東部の落ち着いたキリスト教的な所で、200年前の教会同志の争いなど興味深いもの、昔から受け継がれた儀式的なものなど面白く話されました。（日本区報（第191号）ご参照）

次いで、鈴木メネットは、31年前の思い出が甦り、一人で心細く緊張の連続だった私をロジャー御夫妻が行き届いた親切でもてなして下さったその行為に感動し、Y'sに対する今の御自分があると感銘深く話されました。さらに、若い人達が国際的な人になって欲しい。外国語の大切さを思うとお話を頂きました。

（娘へ）



(31年前の感懐の写真を手にして話される鈴木メネット)

河村連絡主事より、第5回ボランティア・フェスティバル(9/21)と関西いのちの電話(11/4)につき協力の依頼がありました。

報告として、山田メンより、なかのしまウイメンズクラブが20人のメンバーで28日設立総会を中西部会の中で行うことと、メンバーにはメネットを誘わない方針であることを明言されました。また、当日センテニアルから準備などお手伝いのお願いがありました。チャーターナイトは、来年2月11日ホテル・グランヴィア大阪で行う予定にしている旨お話がありました。また栗山会長からは、上記設立総会のお手伝いの依頼と、10月第1例会はEMCに因んで杉浦さんの卓話の予告と、友人同伴の要請がありました。秋月メンより、8月のファンドの収支報告について説明がありました。(9月ブリテンを参照願います)。次いで柴田メネットより、「究極のバザー」に隅田メネットと共に楽しくご奉仕させて頂いたと報告されました。御苦労様でした。

坂本メンより、パソコン通信でブラザークラブを結んだり、ワイズの活動にも使えると思う、パソコンについて知りたい事は何でも尋ねて下さいとのことでした。

盛り沢山の例会も中村メネット会長の点鐘で終わりました。中村会長・隅田メネット御苦労様でした。

= 9月第2例会報告 =

(9月25日(木) 6:30~8:30 p.m.)

書記 三浦直之

1. 「ワイズウイメンズクラブ」の名称使用について: (鈴木メン発言)

9月第1例会で「ワイズウイメンズクラブ」という名称の使用が、国際憲法で認められるように改正されたと報告したが、議事録を読むと、継続審議事項であり、改正は保留となったと訂正の発言があった。但し、名前を使うことは、差し支えない。

2. 中西部会並びに「大阪なかのしまウイメンズクラブ」設立総会について:

当日受付等の担当者(秋月、栗山、山田、三浦各メン、坂本、隅田両メネット)は、11:45a.m.集合。出席予定:178名、内当クラブ23名、なかのしま14名。中西部会のピアノ伴奏は石橋櫻貴氏、記念写真撮影は屋上、午餐会は宴会形式。(その他は9月ブリテンを参照乞う)なお当日の費用は3クラブで分担、当クラブ割当て50,000円。

3. 「大阪なかのしまウイメンズクラブ」チャーターナイトについて:

日時:1997年2月11日(祝日)

場所:ホテルグランヴィア大阪(梅田)

2:00 p.m.受付, 3:00 p.m.開会, 6:00/6:30 p.m.閉会。ホテルとの交渉は栗山会長にお願いする。

4. 10月第1例会(EMC/E 強調月間)(10/16):

別掲プログラムの通り。なお友人知人同伴のことを出欠ハガキで周知する。

5. 11月第1例会(BF・EF)(11/20):

「発掘の面白さ」について、考古学の立場から清水真一氏(桜井市教育委員会文化財係長、同志社森教授の門下生)に卓話をお願いする。

6. 12月クリスマス例会:

12月11日(水) グランドホテルで「なかのしまクラブ」と合同。あと合同のクラブを打診する。

= BF 9月分報告 =

(BFポイントは第1面に掲載)

◎切手提供者(14名)(敬請)

栗山、柴田、杉浦、鈴木、隅田、田中、谷川、津田葉、中村、福永、藤原、三浦、山田、山村

◎現金提供者(6名)(敬請)

栗山、杉浦、鈴木、福永、山田、山村

◇特に今月は、切手は津田葉君、現金(未使用切手)は鈴木君の御協力に感謝。

◇鈴木君のコメント:

○大阪センテニアルは昨年度達成率、中西部では1位、日本区では11位でした。今年も好成績を大いに期待。

○EMCは、大阪なかのしまチャーターで優秀賞確実か。(BF 山村幸明・利子)

関西いのちの電話バザー

日時:1996年11月4日(月・振替休日)

10:00 a.m. ~ 2:30 p.m.

会場:十三 博愛社内 教会(☎06-308-6868)

《ロッター券の購入、当日のバザー活動のご協力をお願いします。》



(設立経過報告をされる栗山センテニアル会長)



(設立総会挨拶として決意表明をされる杉浦真喜子会長候補)

挨拶と設立経過報告

栗山 佳三

大阪センテニアルクラブ会長の栗山でございます。

本日は、私共がスポンサークラブであります「大阪なかのしまワイズウイメンズクラブ」の設立総会のため、中西部会の貴重なお時間をお割きいただきましたことに感謝し、お礼を申し上げます。

また、本日は大阪西クラブさんが、設立10周年のお祝いを企画されておりましたが、後から割り込むような形で私共の設立総会の同時開催をお願い申し上げ、プログラムの変更など、西クラブ様には大変お手数をお掛けいたしました。この場をお借りいたしまして厚くお礼申し上げます。

さて、新クラブ設立の経過でございますが、私共センテニアルクラブが10周年を迎えました頃から、クラブ内に新クラブ設立の機運が高まって参りました。そして設立準備委員会が設けられたのが3年前でありまして、その後94年10月には初顔合わせの第1回の会合を持ち、以来2年間を費やして本日の設立総会に漕ぎ着けた次第でございます。

この間、阪神大震災によるメンバーの被災など、数々の出来事がありました。毎月例会を守り、メンバーを増やし、地道な努力を重ねて今日の設立総会を迎えることが出来ました。

次に、皆様もご関心がお有りと存じますが、「なぜウイメンズクラブなのか」ということでありますが、女性パワーに期待されている向きには誠に申し訳ございませんが、たまたま私共の香港のブラザークラブが女性クラブでありまして、私共と親しく交流し、仲々雰囲気の良いクラブでありますので、「日本にも一つぐらい女性だけのクラブがあってもいいのでは」という軽い気持ちで始まったものでございます。

今後、女性の目でワイズ活動を見直す、という今ま

でなかったアプローチで、私共の活動にも新風を吹き込んでいただけるものと今から期待いたしております。

クラブ員は女性に限る、ということでございますが、新クラブのメンバー集めに際しまして、私共はあえてメネットを勧誘することはいたしませんでした。センテニアルクラブのメネットは皆さん仲良しで纏まっておられ、積極的にクラブの運営を支えていただいておりますので、この活動に水を差すような勧誘はしたくなかったからであります。

そういう訳で、センテニアルクラブから新クラブに移籍するのは杉浦会長候補只一人でありまして、あとのメンバーは殆どが新人という顔触れになりました。従いまして、これから試行錯誤を重ねつつ、クラブの基礎作りから時間をかけて取り組んで参ることになるかと存じますが、どうぞ皆様の暖かいご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

なにもぶん生まれ立てのクラブのことでもありまして、メンバー数もまだ十分とは申せません。皆様方のお知り合いで新クラブのメンバーにご推薦頂けるような方がおられましたら、ぜひご紹介をお願いいたします。

なお、まだ申請手続きなどは済んでおりませんが、来年の2月11日の祝日にチャーターナイトを開催すべく現在準備を進めているところでございます。

どうぞ今からご予定に入れていただき、当日は是非ご臨席くださいますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、日本区、中西部をはじめ、各クラブの皆様から色々ご教示を賜り、また暖かいご支援を頂戴し、本当に有難うございました。

今日、ここに新クラブ「大阪なかのしまワイズウイメンズクラブ」の設立を迎えましたことをもちまして、お礼に代えさせていただきたいと存じます。

有難うございました。

設立総会挨拶

杉浦 眞喜子

本来なら「決意表明」ということですが、「決意表明」などという大それたものではなく、むしろ私の個人的な「思い」を述べさせていただいて、「決意表明」に換えたいと思います。

栗山センテニアル会長の挨拶にもありましたように、元々ほんとうに軽い気持ちで、「女ばかりのクラブ」ということで、クラブ作りをやり始めた訳ですが、ずいぶんいろんな方から「なぜ今さら、女だけ・・・？」という疑問を投げかけられました。実は私自身も、「軽い気持ち」とは言いながら「なぜ女だけ・・・？」という疑問と迷いをもち続けてきました。男と女が共に協力しあってこそワイズのよさが発揮出来るはずなのに、なぜ「女だけ・・・？」という疑問です。

今このことを議論する気もまたその時間ありませんが、今私が結論として得た答えは「ワイズだもの、いろいろあっていいんじゃない？」というものです。今やどこのワイズにも女性のメンがいて、それぞれ活躍されています。現に今日ここで一緒に10周年記念例会を持たれる西クラブの北村さんも女性の会長さんです。でも、まだ女性が過半数を占めるクラブは少ないのではないかと思います。そういう意味では女性はまだまだ少数派のような気がします。「男性の多いワイズ」、「男性と女性が半々のワイズ」そして私たちのような「女性ばかりのワイズ」、そんなのいろいろあって「部」の中で、あるいは「区」の中で、そして国際のレベルで、共に補いあっていけたらいいのではないかしら？と私は考えています。

「女だから・・・」などと気負うつもりも、気張るつもりもありません。肩肘はらずに「女ばかり」でワイ

ズをやってみようよ！と集まった私達が、周りのお兄さんクラブに支えられて、一緒に楽しくワイズの輪を広げていければいいね、と思っています。そしてその上にちょっと欲張れば、出来てみたら、「おお！あの女ばかりのクラブ、やっぱりちょっと違うね！さすがだね！」と言われるような、そんなクラブになればいいなあ・・・というのが、私の夢です。幸か不幸か、メンバーのほとんどがワイズ経験のない人です。かえってとらわれない発想でやっていけるかもしれないと思っています。

この私たちのメンバーの中に、山地和家さんがいらっしゃいますが、彼女はここ数年、大阪YMCAを通してミャンマーでの縫製指導のボランティア活動を続けています。私も含めて、メンバーの多くが、彼女のミャンマーに対する情熱に魅せられ、共感を覚えました。そして、私たちのクラブの目的の一つを「ミャンマーの女性の自立を助ける」ということにしています。

お金も、力もない私たち小さな群が、一体何が出来るか？と言われそうですが、夢は大きく持って、出来ることから、少しずつ、山地さんを応援出来たらと考えています。そして、いつかは山地さんの大きな夢の実現の為に、具体的動きが出来るようになったら・・・と希望しています。この希望を夢に終わらせるか、現実のものに出来るか？最初に申し上げたように、決して気張ることなく、楽しくワイワイと言いながら、でも一歩一歩夢に近づくようなクラブ作りをしていきたいと考えています。

まだ20名に満たない群ですが、まずはチャーターに向けて、もう少しメンバーを増やし、クラブの型を整えていきたいと思っています。

みなさまの強い御支援をよろしくお願い致します。



(「大阪なかのしまワイズウイメンズクラブ」の設立総会で挨拶されたメンバーの方々)

会長 栗山 佳三

9月28日(土)、阪急特別食堂で中西部会が開催され、当クラブからも24名が出席いたしました。

今回の中西部会は、「大阪なかのしまワイズウイメンズクラブ」の設立総会と、大阪西クラブの10周年記念例会を同時開催するという盛り沢山の内容で、参会者も200人を超えるトリプル総会となりました。

定刻午後2時の開会宣言、点鐘で始まった総会では、ワイズソングに続いて今村中西部長が挨拶され、期首に各クラブから提出されたクラブ目標の達成のためにクラブの活動を一層活性化してほしい旨コメントがありました。

続いてこの1年間の物故者に黙想を捧げた後、米賓の増成大阪YMC A総主事が日頃のY's活動に対して感謝の意を表明され、また、西川西副区理事から新クラブの設立、西クラブ10周年に対して祝辞が述べられました。

その後、「大阪なかのしまクラブ」の設立総会をはきんで、名古屋グランパスクラブから米年に開催される日本区として最後の日本区記念大会のアピールと、先日のカナダ国際大会に参加したユースクラブのユースコンベンション報告で中西部会を終了し、屋上での記念撮影に移りました。

〔参考〕

○月間強調テーマ：“EMC/E”

“EMC”(Extension, Membership & Conservation)

“E”はクラブ拡張、つまり新クラブを設立すること。

“MC”は会員増強と維持養育、つまり新会員獲得・会員意識高揚をはかること。

共にワイズメンの運動を直接拡大強化する事業であり、リーダーたる者の絶えざる課題である。



大阪なかのしまクラブ 江見 淑子

第8回中西部会・大阪西クラブ10周年記念例会の行われる日に「大阪なかのしまクラブ」の設立総会を持つことができました。

海外ブラザークラブからの参加者も含めて約200名が集い、熱気あふれる交流の場の中で、私たちは独立した組織としての誕生宣言をしたこととなります。華やか過ぎて、何だか他人事のようにも、これからの自分に深く関わっているようでもあり……といった気分で開会の点鐘を聞きました。

大先輩達の決意は、21世紀にむけての行動方針を語っています。ワイズダムなるファンタジーの世界が広がっていく空想に捕らわれました。また、10周年を祝う先輩クラブのお話は陰影豊かでした。良い時もあれば元気の無い時もあるだろうな……しかし誰かと「共に生きる」という共通の行動指針があれば自他ともに救うのかもしれない。

1~2名を除いて、Y's活動は初めての者が固まって「ねえ、何をすればいいの？ 私なんか居てもいいのかしら」と囁き合っていたのです。

スポンサーとして、新クラブの設立のために力を注いでくださった「大阪センテナルクラブ」の皆さんの挨拶を受けているうちに、だんだんと会の性質、メンバーの在り方のようなものの、焦点が定まってくるのを感じました。この日には出席できなかった長尾有里さんが、前夜遅く迄かかってバラのコサージュを作ってくれていましたが、その花を胸につけて紹介を受けた時、何十年ぶりかの「七・五・三」だと思いました。もう赤ちゃんではありませんよ、しっかりねと背中を押して貰ったのでした。

杉浦会長(候補)が思いを込めて決意表明をしたのは「女ばかりのクラブということ、考えさせられたけれどYだもの、色々あっていいじゃない」「山地さんの夢を実現したい」ということが骨子になっていました。

女のひとは「誰か」の為には大きな力を出せる訓練ができています。個人で大きなことをするより友情を育てることの大切さを肌で知っています。50年前は海外から援助を受けて、やっとここまで来たことを生活史のなかに憶えています。普通のおばさんがアジアの友達の家に行けるようになった時代を生かしてみようとの思いが湧いてくるのでした。

「さすが、なにわ女だね」の掛け声がかかる日がくるようになりたいものです。

パーティは歌あり、ユースのアピールありの盛り沢山で書き切れません。鏡の壁と観客に囲まれた中で裏も表も全部見せたマジックはとても象徴的でした。

暗れがましい席に戸惑ったものの、内容のある設立総会を演出していただいたと感謝しています。

《「なかのしま」9月例会報告》

松下 広子

定時より30分前に黒田さん、山地さんと共に1番のりと部屋に入り、並べてある椅子が増えたのを見て、やっと人数が集まったのだと実感しました。

メンバーが集まるのかと不安でしたが、今設立総会を迎えるまでに漕ぎ着けたことは、とても嬉しいことです。

(例会内容)

○設立総会の説明

日時：9月28日(土) 14時より17時半

場所：阪急百貨店8階特別食堂

名札につけるコサージ、生花ばら(黄色)
長尾さんに依頼、快く作って下さる。

○チャーターナイトについて

日時：1997年2月1日(土)(その後都合により
2月11日に変更)

場所：未定(その後ホテルグランヴィア大阪に
決まりました。)

*準備に費用がいるので会費として、
¥10,000 徴収することを決める。

(振込先：大和銀行 梅田支店)

普通口座番号 8226124

大阪なかのしまクラブ 宛)

センテニアルクラブよりいくらかの援助をして頂けるとのことです。

編集・行事・記念品につき意見交換をして、それぞれ3つのグループに分かれて話し合う、結果は次例会に。

時のたつのも忘れて語り合い、今みんなの熱い気持ち伝わってくるような気がしました。

＝96～97 日本区理事通信より(9月号)＝

◇世界で63番目の国として、タイにバンコククラブが誕生：

ワイズメンズクラブがタイに誕生しました。国際事務局によれば、63番目に当るそうです。スポンサークラブはシンガポールのアルファクラブ。メンバーは40人。

◇西暦2000年の国際大会、開催地を募集：

◇1999年のアジア大会、日本で開催：

国際会議で決定されました。現在開催地や具体的な開催内容等が検討されています。

◇富士宮クラブのチャーターナイトが9月22日に開催されました。

世界のYMCA運動の潮流

谷川 寛

今年7月再度スイス・ジュネーブを訪れました。世界YMCA同盟常務委員会出席のためです。この委員会で目下討議されている大きなテーマの一つに“世界のYMCA使命”があります。

YMCA運動は、ご存じの通り、1844年に英国ロンドンで誕生しました。最初の世界YMCA大会は1855年にパリで開かれました。この時に、世界のYMCAの共通使命であり、YMCA運動の基盤を示した“バリ基準”が制定されました。このバリ基準ができた時集まった人々は、すべて北の国の人々(北米及びヨーロッパ)であり、当時の先進国のYMCAの人々でした。20ヶ国いずれも新教の人々でした。

現在世界のYMCA運動に参加している130ヶ国の人々は、なんと70%近くが“南”に位置している国々です。“北”の先進国から“南”の開発途上国へとYMCA運動も大きくシフトしてきています。今やYMCA運動は、アフリカに、アジアに、と非キリスト教国に大きな広がりを見せています。

一昨年、英国で創立150周年を祝ったYMCA運動は、青年を対象に、世界の隅々まで非常に大きな貢献をしてきました。しかし、今日の多様化、多極化の時代、同じYMCAの看板を掲げていても、国、地域によって、その内容はかなり異なったものとなって来ています。

そこで、1855年に採択された“バリ基準”を含めて、YMCAの使命の見直し作業が進められています。今までに採択されたYMCAの使命を再検討して、来る1998年のスペイン・マドリッドでのカウンシル・ミーティングで、新しい“Statement of Mission”が出されることになるでしょう。“バリ基準”そのものは、そのまま残そうという声が強く、新しいステイトメントの形となりそうです。今年7月にスイスで検討された草案(ドラフト)が各国のYMCA同盟に送られて来ており、各国で検討がなされる筈です。自分の国のYMCAから見て、世界の“YMCA運動の使命”がどうあるべきか、多くの人々の参画が求められています。

そして、21世紀の新しい時代を見つめた世界の“YMCA使命”が提案されることでしょう。

◇日本区事務所(東京)の業務一部を毛利俊雄ワイズ(東京むかで)にお願いすることになりました。各クラブのプリテン、連絡書類は下記へお送り下さい。
〒169 東京都新宿区西早稲田2-3-18-74 B/YMCA調整
7128 麹町前 毛利俊雄様

Afternoon Tea

HIP HOPはかっこいい

隅田 恵子

一年半ほど前から近くのスポーツクラブに通い出しました。日々の運動不足解消と、すっかり肥満した体を締めたいという願いからです。マシーンをを使った筋肉トレーニングやスタジオプログラムも楽しく、週三回ほど通っています。エアロビクスでは軽快な音楽に合わせて、一生懸命体を動かし汗を流し、又鏡に写る我が身を見ては冷汗、タラリ～ですが、なかなかシェイプアップにはつながりません。反対に胃腸の調子がよくなり、又々体重が増えてしまいました。でも最近インストラクターからいつも言われる意識する事が大切、というのが少し分かって来た様に思います。今どの筋肉を使っているのかを意識して運動していると、そのうち効果も出てくるのではと期待しています。

そしてこの夏から楽しく踊ろうというFUNKのクラスにも参加しています。HIP HOPのリズムに合わせて体を動かすのですが、難しくて一生懸命のあまり「顔が恐くなっていますよ。」と言われたり、早い動きについていけず仁王立ちになってしまったり。でも続けていけば、きっとSMAPみたいに私もかっこよく踊れる日が来ると、今日もステップを踏み踏み汗を流しています。

= Y M C A ニュース =

大阪YMCA 河村 実

▽世界YMCA・YWCA合同祈禱週間連行事案内

YMCAでは、世界にある様々な問題を抱える人々のことを共に思い考え、祈るアピール週間として毎年11月の第3週に世界YMCA/YWCA合同祈禱週間の時を持ちます。

テーマ「見よ、わたしは戸口にたってたたいている」
ヨハネの黙示録3章14節～22節

○大阪・韓国関西YM/大阪YWCA合同祈禱会
日時：1996年11月11日(月)18:30～20:00
会場：大阪YMCA会館
奨励：田添禧雄牧師

= インフォメーション =

メネット会長 中村 幸枝

2月のなかのしまチャーターナイト用のプレゼント作成に関して、山地和家子様にご指導をお願い致しましたところ、快く引受けて下さいました。

皆様にお集まり頂く日時は改めてお知らせ致します。この機会に何種類か教えて頂き、センチニアルメネット会の蓄えにしておけたらと、またそれが「力」と成り得るよう願っています。

～メネットからの贈物～

What a Pleasant Surprise!

坂本 千春

今年の4月始めごろ、アメリカから、分厚く、カラフルな切手が8枚も貼られたAir Mailが届きました。主人、哲朗が高校時代、ホストをしてもらっていた、OHIOのGatchellからでした。中には、Tetsuro-Sakamotoと刻られた素朴な銅板のキーホルダーが1つ。このキーホルダーは、哲朗が、YEEPで留学中、OHIOのYMCAの会長をされていたMr. Mentor Lasenが作ったものだそうです。彼は、退職後、近くの銅製品工場に勤めていて、このキーホルダーをつくり、哲朗のかつてのホストに託したのです。

ホストファミリーだったGatchell一家とはずっと交流がありますが、Mr. Mentorとは、全く連絡をとり合ったことはありませんでした。哲朗が留学していたのは、およそ20年も前のことです。彼が哲朗を覚えていてくれたなんて！このキーホルダーを受け取った時、私達がどんなにうれしかった事か！Y'sのつながりってステキだなあと、改めて思いました。

○渡辺禎雄聖書版画展

去る1月8日に亡くなられた聖書版画家渡辺禎雄氏の聖書版画展を全国で巡回開催を実施します。大阪では、世界YMCA/YWCA祈禱週プログラムとして、下記の期間に実施します。

日時：1996年11月11日～16日 10:00～19:00

会場：大阪YMCA会館(11・12日)

大阪南YMCA(13～16日)

◎ 問い合わせ先—大阪YMCA 06-441-5598

’96~97 “日本区理事通信” (10月号) より

4-1. 今月はEMC-Eの日本区強調月間です

9月22日には富士山部で富士宮クラブがチャーターナイトを、28日には中西部で大阪なかのしまワイズウイメンズクラブが設立総会を開きました。皆さんも新クラブ設立の可能性を常に探ってください。キーマンが育ったら、その人を中心にクラブづくりへの勉強を始めましょう。あなたのクラブの活性化につながります。

4-2. ワイズ75周年記念、「地域への贈物」プロジェクトの提案

1922年の11月22日に創立されたワイズメンズクラブ国際協会は、次年度75周年を迎えます。国際では、これを記念して世界規模での記念行事を企画していますが、同時に、地域の各クラブにも「地域のための75周年記念の贈物」を贈ることを提案しています。この贈物(プロジェクト)のため、それぞれの部やクラブで委員会を設置するよう呼びかけています。地域でのクラブイメージ向上にも役立ちます。

4-3. 国際本部ユースインターン募集について

国際では1994年のICM(国際議会)で設立が認められた国際本部(ジュネーブ)でのユースインターン制度に基づいて、97/98年の候補者を募集しています。この制度は1年間にわたり国際事務局での仕事に従事することにより、異文化の学びと体験、独立した生活体験などにより、将来ワイズダムに貢献する人材を育成することを目的としています。必要条件は現在ワイズあるいはYMCAに積極的に関わっており、英語力に堪能な年齢22歳から30歳までの男女。ハードワークに耐え、仕事に柔軟性と積極性がもてる人となっています。期間は97年8月から9月から1年間。応募期間は今年末日まで。希望者は理事事務局まで、ご連絡ください。選考は来年2月に行われます。

4-4. 富士宮クラブが盛大にチャーターナイト

富士山部で10番目、日本区では136番目のクラブとして富士宮クラブが23人で歩き始めました。9月22日に富士宮グランドホテルで行われた祝会は、あいにく台風の影響で新幹線が不通となり、欠席を余儀なくされる出席予定者も出ましたが、140人余りの出席者で盛大なチャーターナイトでした。これで東副区は1,289人、西副区は1,975人、計3,264人となりました。

4-5. 日本で初めての女性だけのクラブ、なかのしまクラブが設立総会

ワイズ日本区で初めての女性メンバーだけによるクラブ、なかのしまクラブが9月28日の中西部会で設立総会を迎えました。「女性だけのクラブもあって、いいのでは」と、あまり大きな意味はないことを挨拶で強調した杉浦真喜子会長でしたが、日本区に新風を巻き起こすことでしょう。チャーターナイトは来年2月11日の予定。

4-6. ワイズ日本区、女性メンバーが11%に。全国平均年齢は51歳

今年度の名簿から集計した日本区全体のワイズ像が明らかにされました。(岡本尚男ワイズ集計) それによりますと、ワイズの平均年齢は東副区が49歳、西副区が61.5歳で、全国平均は51歳ですが、西副区の方がかなり年齢が高くなっています。また、部単位では中西部の65.5歳が最高で、最低は西部の40.5歳。また女性メンバーは、東副区が126名で9.7%、西副区が231名で11.3%。全国では10.7%と1割を占めています。

4-7. 新入会員があった際の手続きについてのお願い

ハンドブック&ロースターの中の「クラブ運営に関する事務手続きのポイント」にもありますように、すみやかに「会員名簿資料カード」で理事事務局へお知らせ下さい。また同時に入会金として6,500円を日本区会計へお振込み下さい。いずれかの手続きがなされていないケースがありますので、よろしくご協力をお願い致します。

◇◇◇ クラブ・ソング ◇◇◇

Once more we stand, new zeal our hearts imbuing;
We raise our hand, Our service pledge renewing,
Ne're to deny our motto's claim,
Y's Men in fact as well as name,
Always our objects to pursue,
We consecrate ourselves anew.

うたえば ころろひとつに
ともがき ひろがりゆきて
とおきも ちかきもみな
ささげて 立つやワイズメン
さかえと ほまれゆたか
まことは 胸にあふれん

☺ニコニコ・メッセージ☺

- ◎私に勉強の場をお与え下さいましたことに深く感謝致します。暖かいおもてなしをいただき有りがとうございました。
・・・日本区メネット事業主任 森本好子
- ◎メネットのお話をして下さった森本さん、中村メネット会長、国際大会をご報告下さった鈴木さん、鈴木メネット有難うございました。・・・秋月利英
- ◎津田葉さん、決算報告ありがとうございます。大切な会計事務奉仕、今後よろしく願います。
・・・河村 実
- ◎森本メネット事業主任の率直な感想、ご意見をお聞かせいただき有難うございました。
それにしても、当クラブはメネットに大変恵まれていることを再確認いたしました。今後もメン・メネット一体となって頑張りましょう。・・・栗山佳三
- ◎森本日本区メネット事業主任の今後のご活躍を祈ります。
・・・黒田殿之
- ◎先週旅行でマレーシアへ行ってきました。10年前とは比べものにならないくらい発展していました。今後アジアのY'sのパワーに期待します。
・・・坂本哲朗
- ◎森本メネット事業主任のお話、鈴木メン・メネットのカナダでの大会のお話ともりだくさんで、楽しい充実した夜でした。
・・・坂本千春
- ◎森本日本区メネット事業主任、お話有難うございました。
中村メネット会長、頑張ってください。
鈴木御夫妻のスピーチ、大変興味深く聞かせて頂きました。
・・・柴田 健・暢子

- ◎皆様のお支えによって、「なかのしまワイズウイメンズクラブ」の設立総会に漕ぎ着けました。感謝しております。
チャーターまで、一層のご支援をお願いします。
・・・杉浦真喜子
- ◎森本日本区事業主任の率直なメネット報告に感心、感謝。
・・・鈴木謙介・美藤
- ◎森本メネット事業主任のご活躍を祈ります。
隅田メネット司会ご苦労さまでした。
・・・隅田 保
- ◎Y'sメネットとして奉仕出来ますことを感謝申し上げます。
・・・隅田恵子
- ◎楽しいメネットナイトに感謝。
・・・田中穰二
- ◎新年度予算を承認して頂きありがとうございます。今年度も金銭面の御協力よろしく御願います。
・・・津田葉清政
- ◎森本事業主任の本音のお話、ありがとうございます。鈴木メン・メネットの国際大会のお話も感激です。
・・・中村幸枝
- ◎とてもお食事もおいしかったし、坂本さんが作ったケーキもおいしかったです。2つかわさせていただきました。
これからも、少しでも多く出て来たいです。
・・・中村まい
- ◎森本事業主任のお話とともに、中村メネット会長の活発なご活躍の一端を伺い、今後の発展をお祈りします。
・・・福永嘉彦・滋子
- ◎メネット・ワイズの基本を考えさせられる夜でした。しかし、鈴木さんも奥様も35年前と余りお変わりになったとは思えない写真を拝見して、心の持ち方の大切さを改めて痛感させられました。・・・藤原正巳
- ◎森本メネット主任、感じた事を素直に話され、よくわかりました。今後ますますの御健闘を祈ります。
・・・三浦直之
- ◎8月23日で満66才をなり、ますます元気です。11月にはハーフマラソンに挑戦するつもりで、トレーニングにいそしんでおります。感謝。
・・・山田孝彦
- ◎森本メネット主任、御苦労様でした。
(美しき秋の彼岸の佛さま) ・・・山村幸明
- ◎森本メネットお役目ごくろうさまです。ご指導よろしく願います。
・・・山村利子

【編集後記】「なかのしまクラブ」の設立総会を終えた事は何とおめでたいことでしょう。関係者の皆さんに心から感謝を申し上げますと共に、今後の御成功をお祈りします。このプリテンも慶祝特別号になりました。沢山の素晴らしい原稿を有難うございました。(Y.F.)